古河歴史見聞録

篆刻美術館に「観自在菩薩」

篆刻は、とくに篆書(漢字の古い書体)を刻す(主に石に彫る)ことからそのように呼ばれています。篆刻界初の文化勲章受章者となった小林斗盦(1916～2007)は、篆刻について「深く広い勉強を必要とする芸術であるから、むずかしくもあり、やりがいのある仕事である」と述べています。「篆刻鑑賞は難しい」といった声を聞くことがありますが、それだけ深く探求することができる分野であるともいえます。篆刻をより身近に感じていただくことで、いつのまにか篆刻に魅せられているかもしれません。そこで今回は二つの作品を紹介します。

どうして古河に篆刻文化？

古河出身の篆刻家生井子華(1904～1989)は昭和初年に「小さいが何と充実して美しいものだろう」と思い、これが篆刻に関心を持ったきっかけです。その数年後、生涯の師となる西川寧(1902～1989)に巡り合います。生井の作品「游刃有餘地」(写真1)は、泰東書道院展(昭和16年)の篆刻部最高賞の評価を得た作品で「仕事に熟練していて余裕をもって事に当たる」という意味です。終戦直後、西川寧の講話を聴くために「握り飯を二食分持って、古河駅から東北線の列車に弟子と二人で死にもの狂いで乗車した」という話も残っています。この情熱こそが古河に書と篆刻の文化を運び込みました。その後、生井は日展を舞台に活躍し、昭和24年と26年に特選を受賞しています。初期の作品は、師の指導を通じて、趙子謙や河井荃廬といった名人の作風を追求します。師弟関係は60年近くにも及びました。最初に目にした小さな朱白の世界への感動が一生涯のものとなったのです。

▲生井子華「游刃有餘地」(写真1)

これも篆刻？　観音様のお顔？

「観自在菩薩」(写真2)をご覧ください。これは生井の最晩年の作品です。「観自在菩薩」とは観音様のことで『般若心経』の冒頭句です。この作品をじっと眺めてみると、慈愛に満ちた観音様の顔が幾つも浮かんできそうですね。平成元年5月、西川寧が逝去します。追善供養として制作・発表されたこの作品について、生井の弟子である河野隆(1948～2017)は「万感胸に去来する想いで制作されたのではないか」と、後に生井の胸中を推し量ります。西川の葬儀の際、生井は門弟代表として弔辞を読み「今後は、先生からいただきました、ご教訓を遵守いたしまして、精進努力、御厚恩の万分の一でも果たしたい固い覚悟」と語りかけました。この渾身の一作は生井の信仰心であるともいえます。同年12月、生井は師を追うように他界します。その翌々年の平成3年、日本初で唯一の篆刻を専門とする美術館として、篆刻美術館が古河市に開館し、今年で35周年を迎えます。

▲生井子華「観自在菩薩」(写真2)

地域の伝統行事・観音開帳

さて、昨年の「猿島阪東観音開帳」に続き、今年は「葛飾坂東観音開帳」の年。この地域の人々が大切にしてきた信仰で12年に1度の特別な年です。この機会に篆刻美術館にも「観自在菩薩」詣でに出かけてみてはいかがでしょうか。多くの人に篆刻を鑑賞していただくきっかけになることを願っています。

皆さまのご来館をお待ちしております。

篆刻美術館学芸員　印出隆之

図書館の本棚から

【一般書/精神世界】
恐い間取り4
松原タニシ　著

鍵が開く家、霊道の事務所、廃神社そばの家、次々と死ぬ家…。“事故物件住みます芸人”が、これまで生活してきた事故物件での体験や、実際に事故物件に住んでいる人に取材した話などを、間取り付きで紹介する。シリーズ第4弾。

出版社…二見書房

【児童書/日本語】
こども語彙力クイズ366
高濱正伸　監修

1日1問クイズを解いて、思考力・読解力・表現力の土台となる「語彙力」を育てよう。ことわざ、四字熟語、オノマトペ、気持ちの言葉、季節の言葉など全18ジャンルの言葉を学べる3択クイズを収録する。

出版社…日本図書センター

【一般書/小説】
キャベツ炒めに捧ぐリターンズ
井上荒野　作

都内の小さな商店街で、総菜屋「ここ家」を営んでいる60代後半の江子、麻津子、郁子。ある日、店の立ち退き問題が発生し…。いろいろありながらも、前を向いて歩く彼女たちのいとおしい物語。『ランティエ』連載を加筆訂正。

出版社…角川春樹事務所

【絵本】
おいしくなあれ
さこももみ　作

ここは、おいしくなあれレストラン。かわいいコックさんが唱えるすてきな呪文で、どんなお料理ができるかな？

思わず親子でまねしたくなるカラフルで楽しい食育絵本。

出版社…マイクロマガジン社

ユーセンターKI防水

Enjoy! スポーツ少年団

古河MBC
(ミニバスケットボール)

古河MBCでは、バスケットボールの楽しさに加え、練習や試合を通じてあいさつや礼儀、仲間を思いやる気持ちを学び、チームワークの大切さをモットーに活動しています。

目標は「昨日の自分よりうまくなる」。真剣な中にも笑顔が絶えない活気ある練習を続けています。最高の仲間と出会い、夢中になれる時間を一緒に過ごしましょう！　バスケットボールが初めてのお子さんも大歓迎です。いつでも気軽に見学・体験ができますので、ぜひ、ご連絡ください！

チームデータ

▼活動日
火・木曜日：18時～20時、金曜日：17時～19時30分、土・日曜日：9時～12時

▼活動場所
古河第三小学校、古河第六小学校など

▼問
髙辻由里子
TEL090-7219-0020